地域福祉活動計画策定プロセス

段階	準備項目	留意事項	2018年度																
			11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第一段階	事務局内での計画策定の決定とそれに係る予算確保																		
	職員間の合意形成	事務局のみならず介護事業系職員も参加する研修会の開催など				20日研修会													
	理事会・評議員会での承認手続					理事会	評議員会												
	事務局内にプロジェクトチームを設置	一人で担当させない。副任をつけること	14日メンバー選定				打合せ・検討	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	先進地視察	計画策定を終えている県内社協への視察研修		19日燕市社協															
	市及び関係機関との調整	地域福祉計画及びその他行政計画との整合性の確認など						市へ承諾もらう											
	策定委員の選出	多様な団体、男女、年齢バランスを考慮。必ず公募委員を加えること					委員の候補選定	設置要綱作成・選出・公募											
	策定委員会の開催	出席率を高めるため年間計画を示すこと							5/21 第1回委員会				9/28　第2回委員会（ヒアリング報告・体系図案報告）				第3回委員会 （素案検討）		第4回委員会
	作業部会の設置	アンケートや懇談会の意見整理や分析。できれば住民にも関与してもらう						部会メンバー	部会打合せ	→	→	→	→	→					
第二段階	アンケート調査の設計	目的、対象をどうするか。どのような質問を設定するか																	
	アンケート調査の実施	回収率を上げるためにもっとも有効な方法を検討する																	
	アンケート調査の集計・分析																		
	地区別住民懇談会の企画	どの単位で開催したら集まりやすいか検討する						PT、部会による企画	→	→									
	地区別住民懇談会の開催	できるだけ社協理事・評議員、策定委員からも参加してもらう								6月下旬頃から各地区で開催	→								
	当事者団体からの意見聴取	民児協、老人クラブ、障害者団体、母子連などの当事者団体からのヒアリング								住民懇談会と同時進行で行う	→								
	小中高校へのアンケート調査の実施									住民懇談会と同時進行で行う	→								
	地区別住民懇談会で出された意見の分析・課題の整理	作業部会で整理・検討								整理・分析	→	→							
	市及び関係機関との協議	新規事業等の予算要求など																	
第三段階	計画素案の作成	基本目標・基本計画、実施計画など分担する											素案作成・修正	→	→	→	→		
	地区別の住民懇談会で素案の説明と意見聴取の実施																		
	パブリックコメントの聴取	ホームページだけのパブコメに終わらないこと。目安箱方式も採用														HPのほか、支所に意見箱設置			
	計画素案の修正														行政計画との整合性を取るため、市とも協議				
	策定委員会にて承認																		
	理事会・評議員会にて決定																		理事会・評議員会
	計画書の印刷・製本、ダイジェスト版の印刷																		
	計画の公表と周知	社協だより、ホームページ、ダイジェスト版の全戸配布など																	
第四段階	計画の実施																		
	計画の進行管理																		
	計画の評価	計画評価委員会の設置																	